

第28回 東京大学教養学部 室内楽演奏会

ダクソフオンのからくり

Daniel
Fishkin

吉本裕美子

内橋和久

筒井響子

東京大学ピアノ委員会ではアメリカの卓越した楽器制作者ダニエル・フィッシュキンを駒場に招聘し、彼が設計する「ダクソフォン」という特異な楽器をめぐるコンサートとシンポジウムを開催します。

日本でも広い人気を誇るダクソフォンは、1987年にドイツのハンス・ライヒェルが発明した、弓で共鳴させる薄い木片からなる体鳴楽器です。チェロとアナグマの中間のような響きを持ち、人間や動物の声を不気味なほど模倣できることで知られています。

2025年5月27日 (火)

19:00 (18:30開場)

司会・通訳：中井悠 | サウンド・エンジニア：西原尚
東京大学教養学部 | 駒場キャンパス18号館ホール
入場無料 (先着100名) | 全席自由 | 要申し込み

本イベントでは、フィッシュキンを中心にしながら、ライヒェルと長年にわたってダクソフォンを共同制作してきた内橋和久と、彼のもとでダクソフォンを学んだ筒井響子と吉本裕美子も交えて、この類まれな楽器を用いたさまざまな音楽表現を披露します。また演奏の合間に演奏者たちが参加するシンポジウムを挟むことにより、ダクソフォンの歴史的背景とからくりの魅力を紹介します。

関連イベント 5月21日 | ダクソフォンレクチャー | 東京藝術大学上野キャンパス

【主催】東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピアノ委員会 【共催】先進融合（アヴァンギャルドアート）部会

【後援】東京大学芸術創造連携研究機構 【協賛】東大駒場友の会

